



桐生市青年祭

10月8日(日)に、青年の家で第53回桐生市青年祭が開催され、市内のサークルや青年団体などが日頃の活動の成果を発表しました。

桐生市青年祭は、団体間の相互理解を深めること、青年による地域の社会活動への参加意識向上と青年団体活動の活性化を図ることを目的として、毎年開催しています。

当日は天候にも恵まれ、高校生のダンスをはじめとしたステージパフォーマンスや模擬店、イベントブース、作品展示などが開催され、多くの来場者でにぎわっていました。



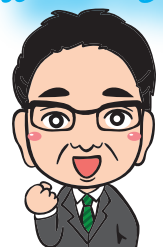
ビジネスマッチングフェア

10月11日(水)に、市民体育館で「ビジネスマッチングフェア桐生2017」が開催されました。会場には2500人以上が来場し、活発な商談や交流などで大いににぎわいました。

桐生市、桐生商工会議所、桐生信用金庫の3者で平成27年2月に締結した「包括的連携・協力に関する協定」に基づく取り組みの一つで、3者が連携して取り組むのは、今年で3回目となります。

今回は、市内をはじめとした156の企業や団体が、魅力あふれる製品や商品、そして技術やサービスなどをPRしました。

こんにちは！
市長です



早稲田大学から依頼を受け、10月19日に同大学で「きもの学」についての講義を行いました。

この講義は、学生が着物や織物に関係した人から話を聞くことで、その感性に触れ、日本人の心と文化の真髄を探ることを目的としているそうです。

担当の教授から「受講しているのは、グローバルリーダーを目指す意欲的な学生ばかりですよ」とお聞きし、桐生市を宣伝するいい機会になるなと思い、引き受けました。

当日は、400人近い真剣なまなざしの学生を前に、「桐生は日本の機どころ」と題して、桐生織の歴史や産業観光など、桐生の魅力を紹介しました。

これを機に、若い人が着物に興味を持ち、桐生に関心を持ってくれたならば、こんなにうれしいことはありません。